

CFS（Clinical Frailty Scale）観察・記録シート v3

本シートはCFS公式尺度の転載・代替ではなく、急性変化前のベースライン情報と判定根拠を整理するための記録補助シートです。CFSの最終判定は公式日本語版 Version 2.0 を参照し、臨床判断で行ってください。

1. 評価基本情報

患者ID		評価日		評価者		評価目的	
評価する時点		急性変化の有無		基準としたベースライン時点		急性変化との関係	

2. 情報源（複数可）

	本人	☐	家族	☐	介護者	☐	診療録	☐	介護記録	☐	他職種	☐	その他	☐	
--	----	--------------------------	----	--------------------------	-----	--------------------------	-----	--------------------------	------	--------------------------	-----	--------------------------	-----	--------------------------	--

3. 急性変化前のベースラインを整理する

領域	確認内容	急性変化前の状態	具体例・支援内容	自立/支援	いつから	情報源	判定に関係するメモ
活動性・外出	普段の活動量、外出、運動・社会参加						
移動	屋内外の歩行、補助具、階段、移動範囲						
IADL	買い物、金銭管理、服薬、交通手段、家事など						
ADL	食事、更衣、整容、トイレ、入浴など						
認知・判断	認知機能が生活管理や安全に与える影響						
症状・予備力	疲れやすさ、息切れ、動作の遅さ、活動制限						

4. 4と5で迷うときの確認

CFS 4/5の境界では、高度なIADLに他者の介助が必要になっているかが重要な手掛かりです。ただし「家族が行っている＝5」と機械的に決めず、健康状態・機能低下によって本人だけでは難しくなった支援か、以前からの役割分担かを確認します。最終判定は公式版の記述と臨床判断を優先します。

日常生活の介護		高度なIADL介助		活動制限		支援の理由	
役割分担か		機能低下による支援か		本人の認識		家族/介護者の見立て	

5. CFS判定と根拠

CFS（1～9）		公式版照合	☐ 確認済 / ☐ 未確認	判定時点		再確認者	
判定根拠							

8/9の注意：CFS 9は単純に「8より介助量が多い段階」ではありません。人生の最終段階という条件を含むカテゴリーです。8と9を介助量だけで連続的に判定せず、公式版の記述と臨床背景を確認してください。

CFS記録シート v3 | 使い方・注意

このシートの目的

CFSの点数を自動計算するのではなく、判定に必要なベースライン情報を漏れなく整理し、どの情報を根拠に1～9を選んだかを残すための補助シートです。CFSは臨床判断型の尺度であり、本シートだけで判定を完結させないでください。

記入の流れ

Step	確認すること	ポイント
1	評価目的と評価時点を明記	急性期で用いる場合は、今回の急性変化前の代表的な状態を切り出す
2	情報源を確認	本人だけで不十分なら家族・介護者・診療録などを組み合わせる
3	活動性・移動・IADL・ADL・認知を整理	「できる」だけでなく、実際の生活で何をしていたか、何に支援が必要だったかを確認
4	4/5の境界を確認	IADL支援の有無だけでなく、その支援が健康上の依存によるものかを確認
5	公式版と照合してCFSを判定	分類表や補助ツールは臨床判断の代替ではない
6	判定根拠を文章で残す	点数だけでなく、評価時点・支援内容・情報源を残す

判定で迷いやすい境界

境界	確認すること	注意点
4 ↔ 5	高度なIADLに他者の介助が必要か	家族が実施している事実だけで5にせず、機能低下による依存が役割分担かを確認
8 ↔ 9	非常に重度の虚弱と人生の最終段階を分ける	9を「8より重い介助量」として扱わない
認知症あり	認知機能低下がIADL・ADLへ与える影響	歩行自立や診断名だけで判定しない
急性増悪中	今回の変化前の代表的な状態	入院後・発症後の一時的なADL低下をそのままベースラインにしない

使用上の注意

- ・CFSは治療・リハビリテーションの適否を単独で決定する尺度ではありません。
- ・CFSの公式図表・各段階の全文は著作権・利用条件を確認し、公式版を参照してください。
- ・評価目的により「現在」と「急性変化前」のどちらを示すのが異なり得るため、評価時点を記録してください。
- ・若年者や長期間安定した単一障害など、一般的な高齢者のfrailty評価と同じ解釈が適さない場合があります。
- ・チーム共有ではCFS値だけでなく、判定根拠と情報源を合わせて共有してください。

参照先

日本老年医学会 CFS日本語版 Version 2.0 : https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/tool/pdf/tool_14.pdf

Dalhousie University Clinical Frailty Scale : <https://www.dal.ca/sites/gmr/our-tools/clinical-frailty-scale.html>

Komiya H, et al. Validation of the Japanese version of the Clinical Frailty Scale. Geriatr Gerontol Int. 2025;25(3):411-417. PMID 39895104.

PubMed : <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39895104/>